



当資料は 7/31(金)大阪機械記者クラブ、自動車産業記者クラブにて資料配布させて頂いております。

2009年7月31日

報道関係各位

地球温暖化防止に向けたモリタグループの環境保全活動として

快適「うちわ」で省エネ。

消防車の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタホールディングス(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博)は、「チーム・マイナス6%」活動に賛同し、2006年に参加登録するとともに、毎年6月から工場・オフィスにおける冷房時の室温を28℃に!『ノーネクタイ・ノー上着ファッション』でクールビズを実施しておりますが、さらに温暖化防止に向けた活動として、グループ全社員及び工場見学来場の方々に快適「うちわ」を配布し、省エネ意識の向上に努めております。

モリタグループでは、環境に配慮し、消防車製造工場(兵庫県三田市)・環境機器製造工場(千葉県船橋市)ではISO14001を取得してCO2排出削減に取り組んでいます。

そして、消防車の放水テスト後の水も独自の処理を行い、消火薬剤の泡水は産業廃棄物として処理をして一切公共下水等には流さないようにしています。

さらに、工場内に約200本の桜を中心とした植樹や屋上緑化、毎月工場周辺の道路の定期清掃を行なうなど、地域の環境保全にも努めています。

これらの活動は、地球温暖化対策の一貫として全社で取り組んでいるものです。



これからも「人と地球のいのちを守る」をスローガンのもと、たゆまぬ努力と新技術の開発に一丸となって取り組むモリタグループにご期待ください。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタホールディングス 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088